

第52回歴史地理教育者協議会全国大会（三重大会）レポート

分科会：第21分科会（障がい児教育）
レポートテーマ：「猿と人間の食べ物の違い」
レポート日：2002年8月2日
報告者：竹下忠彦
所属：都立多摩養護学校（東京歴教協）

「社会科」学習指導案

「猿と人間の食べ物の違い」

日時 2001（平成13）年11月30日（金）
場所 中学部 Cグループ教室
対象生徒 C・Dグループ
男子5名 女子2名 合計7名（欠席1名）
指導者 MK UH
KH ○竹下忠彦
SY

1. 単元名 猿と人間

2. 単元設定の理由

「C・D」グループの生徒たちは、個人差はあるが、会話による他人とのやりとりがある程度できるようになった。興味・味の範囲は、通常よりも狭い。会話でやりとりするテーマも家族やTV番組や食べ物など、限られたものを考える。①やりとり（話し合い）できるテーマの幅を広げていきたい。②このテーマで、原始的な人間の生活と現代の人間の生活の違い（歴史学習）に基づいて、③このテーマは、比較的自分の体験をベースに意見を出しやすいため、動物園に行くと、動物園の飼育係の人に行き、猿の様子をビデオで撮り、質問に対する答えを聞くところから猿と人間の「違い・似た点」を考へていく。

3. 生徒の実態

B：唯一の「D」グループの生徒。読み書きの力はこの集団の中では随一のものを持っている。今回、代表して、みんなの質問を飼育係の人にしてあげると、かなりの先生に助けられていた。授業での報告では、教員がある程度表にまとめて話す観点をあげると、その後自分でも演などしながら、うまく説明していた。彼の発言によって全体のやりとりが深まっていくことが期待される。

D：生徒同士の話し合いになった時、なかなか自分から意見を言わない。しかし、何人かの友達の意見を聞き、自分でも発表できそうだと考えた時、発表することが多い。最近グループの雰囲気にも慣れ、自分から発言することも多くなってきた。

A：みんなの意見を聞いたり、ついでに先生から補足的な説明を聞くと、分かったと表情をする。発声は難しく、意見の表出方法については課題である。意見を言う場合は「はい」「いいえ」の選択肢で聞く。

H：話し合いの時、意見を積極的に言う。直感的な意見が多く、質問の意図とずれた意見も多い。しかし、話し合いの展開にあたっては貴重なムードメーカーである。言葉に対する感覚がすぐれている。話し合いにあたって生かせる発言はできるだけ生かしたい。先生の指すもの（教材等）をよく見たり、今何を話しているかをつかむことが課題である。

I：発声は困難である。トーキングエードやテックトーク、はい・いいえ（挙手）などの手段で意見を表出する。教員の質問の意図、みんなの意見と自分の意見の違い、話し合いの流れなどは、つかんでいる。話し合い授業のさいには、どの場面で、意見発表をするか、どの方法でするか、課題である。今回の授業で、全体のやりとりが深まるような意見が出ることを期待される。

K：読み書きの基礎的な力は、Bについてである。しかし、興味・関心が自分の身の回りの狭い範囲（食べ物、好きなアニメ番組、なかよくしている大人）などから、なかなか広がらない。アドバイスをあげると、自分なりに考えた意見を発表する力も持っている。

4. 単元の目標

(1) 全体の目標

- a) 猿と人間の似たところ、違うところを理解する。
- b) 人間の特徴（二足歩行と手の自由の獲得、道具の制作・使用、火の使用、言葉によるコミュニケーション）を理解する。
- c) 人間のすばらしさと弱点を考えてみる。
- d) それぞれの生徒のよさを出し、全体として話し合いが深まるようにしたい。

(2) 個人の目標

- B：話し合いの中で、まとめた発言を言う。
話し合いの中で、考えを深め、猿・人間の違いについて本質をついた発言をする。
a・b・cについて自分なりに発表できる。
- D：自分から、積極的に意見を言う。自分の意見に自信をもつ。
aについて発表できる。
b・cについて、話合いの中で、理解をしていく。

- A：みんなの意見を聞いて、「はい」「いいえ」で自分の意見を発表する。
特にaについて、しっかり発表できる。
b・cについては、ついでに先生から補足説明をしてもらいながら理解する。

- H：先生の話していること、みんなの話している事を良く聞き、教材や絵・写真などをよく見た上で発表する。
aについて、発表できる。
b・cについて、話し合いの中で、理解していく。

- I：a・bについて、自分の気づいたことについて、しっかり意見を言う。
cについて、酒井君や先生の意見を聞き、自分なりに考えをまとめてみる。

- K：aについてしっかり意見を言う。
b・cについて全体の話し合いをよく聞き、自分なりの発表が出来る。

5. 指導計画

単元全体で12時間（本時は7・8時間目）

- ① 1・2時間目「猿についての質問・疑問を考えよう」
- ② 3・4時間目「動物園に行ってきた。S君の報告を聞こう。」
- ③ 5・6時間目「猿と人間、似ているところは？」
- ◆本時④ 7・8時間目「猿と人間の食べ物の違いは？」
- ⑤ 9・10時間目「猿と人間の違い。決定的にちがうのは？」
- ⑥ 11・12時間目「人間って何だ？人間の特徴・すばらしさ・弱点」

6. 本時の指導

(1) 題材 猿の人間の食べ物の「違い」を考える

(2) 目標

① 全体の目標

- イ) 野生の猿の食べ物と人間の食べ物のそれぞれが分かり、違いを理解する。
- ロ) 野生の猿は調理した（火を使った）食べ物は食べないことに気づく。理解する。
- ハ) 人間の方が多様な（調理した、生の）食べ物を食べることに気づく。理解する。

② 個人の目標

- B：イ・ロ・ハについて、自分から気づいて、意見を発表できる。
- D：猿と人間の食べ物がそれぞれ理解出来、違いについて友達の意見を聞きながら、意見を言う。

- ロ・ハについて、話し合いの中で理解していく。
- A : 猿と人間の食べ物がそれぞれ理解できる。違いを意識する。
- H : 猿と人間の食べ物がそれぞれ理解出来、友達の意見を聞きながら、違いについて意見を言う。
- I : ロ・ハについて、話し合いの中で理解していく。
- I : イについて、自分から気づいて、意見を発表できる。
- K : ロ・ハについて、酒井君の意見や先生のアドバイスを聞き、自分の意見を発表する。
- K : イについて、自分の意見を発表できる。
- ロ・ハについて、話し合いの内容をよく聞き、理解していく。

(3) 本時の展開

時間	学習内容	指導上の留意点	個々の生徒の活動
5分	●はじめの挨拶 本時の説明 T 猿(チンパンジー)と人間の食べ物の違いを考えます。		
10	「人間の食べ物」(絵や実物) 「猿の食べ物」(絵や実物) を生徒の前に示す。 T それぞれ、どんな食べ物ですか? T 生徒の言ったものを表にまとめる。確認する。	・猿は野生のもので考える事をはっきり示す。	・全生徒、食べ物を確認する。特にH、D、Aには丹念に見せる。 ・H、D、A、K中心に発表。
15	T さて、猿の食べ物と人間の食べ物で「違い」は何でしょう? いろいろあると思います。自由に意見を出してください。食器の使用、調味料などいろいろな意見が期待される。 (実物を示す) 「焼き芋」「なまの芋」 「火を通した肉」「生肉」 T (ヒント) ・どちらが、猿が食べるものか? ・人間の食べるものは、何か手を加えていないか?	・最初は自由に言わせるが、核心にせまる意見が出ない時は途中でヒントを言う。	・ヒントを言う前に、B・Iから核心につながる意見が出たら、それをいやす。 ・なかなか核心にせまる意見が出なかったら、ヒントを出し、また自由に意見を出させる。 B、Iに意見発表を促す。
15	T 猿と人間の食べ物の「違い」の中で「大事な違いは何だろう?」(ボードに書き説明する) 野生の猿: なまの食べ物ばかり。 人間: なまの食べ物もある。その他の方が多(具体的にあげる)調理をする。 T (ヒント) 肉を調理をする時に使うものは何ですか。(炭焼きパーベQなど思い出して) * ガスレンジに火をつけてみる	・ボードに書いたあとで生徒に意見を発表させる。 ・生徒が「答え」を言うようにする。	・各生徒に自由に発表させる。B、Iから意見が出たらそれをいやす。
5	●まとめ T 猿と人間の食べ物が一番大事な違いは「火」を使うかどうか、なのですか? * 時間があれば、人間の方がよりたくさん種類の食べ物を食べることにふれる。		・時間があれば、火を使って調理する利点について、B、I中心に意見を発表する。 (時間がなければ、次の時間にふれる)

- (4) 準備するもの
・野生の猿(チンパンジー)の食べ物(実物または絵か写真)
・人間の食べ物(調理したもの中心に) 絵か写真
・模造紙
・ガスレンジ
- (5) 座り方
車椅子の生徒4人、教員が介助して座る生徒1人、イスに座る生徒1人
- (6) 評価の観点
全体の目標、個人の目標がそれぞれ達成できたかどうか。

B	D	A	H	I	K
* 理由をあげたり、詳しく誘導する。	* 意見を言うように、教員からも援助する。 * 友達の意見を言う。	* 教材をよくみる。* 教員と一緒に考える。 * 友達の意見を言う。	* 教材をよく見る。* 意見を言う。* 意見を言う。 * 友達の意見を言う。	* 意見を言う。* 意見を言う。 * 意見を言う。	* 意見を言う。* 意見を言う。 * 意見を言う。
* 比較して検討させよう。理由を誘う。	* 友達の意見を言う。	* 友達の意見を言う。	* 友達の意見を言う。	* 友達の意見を言う。	* 友達の意見を言う。